

事業実施内容

補助事業実施内容

一般の補助事業実施に向け、当社は社内部署で英語・日本語を活用するIT関連の海外案件を担当する部署とインド人材採用枠について事前協議をおこなった。

また、同じく当社内の海外プロジェクトコンサルタント部とも事前協議し、客先常駐型の海外プロジェクト支援業務でのインド人材のメンバー加増についても協議済。

業務上、全て日本語の職種にインド人材を投入することは、高い英語力を持つ人材の能力ロスとなり、当社としては英語と日本語の両方を活用する職種にアサインする適材適所を念頭においている。

また、取引先である大手キャリア会社とは、英語を活用するデータセンターの監視業務にて当社の日本人社員とインド人社員との混成チームでの対応を既に提案している。当社は、現状でも外国人社員の比率が高く、就労VISAの申請においても申請ノウハウを持っている。また、外国人社員とのコミュニケーションやメンタル的なバックアップ体制もあり、グローバルな社風を持ち合わせた会社である。

事業成果

1) 交流イベントを通じた成果

個別でのインド人学生との交流会では、3大学共に多数の学生が参加し、学生達の日本への就業意欲の高さが明確に理解できた。ほとんどの学生は英文CVを持参しており、中には日本語のCVを持参する学生もいた。当社からの要望としては日本語力N3レベルと、IT関連の就業希望者についてはCiscoのCCNA・CCNPの取得者を高く評価する。との説明に今後、勉強をしていく。との積極的な返答がほとんどであり学生の真剣度は非常に高いものと認識ができた。

2) 学生とのコンタクト数

1) Amity University	180名
2) Manav Rachna University	170名
3) SRM University	200名



今後の雇用計画

雇用計画とプロセス

◆向こう4~6カ月のタイムライン

- 1) 大学側にて日本での就業希望者を募り、日本語力及び海外での就業適応能力が高く有能な人材をスクリーニング選定し当社へ推薦して貰う。
- 2) 大学から提供された候補者のCV、日本語スキル、専攻分野での能力をチェック。
- 3) 上記2)の書面チェック後、書面選考での通過者とのオンライン会議を実施。
- 4) 大学2年生、3年生の学生の場合は、当社より採用条件を提示。※採用時期は卒業後となる
- 5) 大学4年生の場合でも採用条件を提示し、条件をクリアーした場合の雇用となる。
採用条件を全てクリアーしている候補者には、雇用条件を提示し雇用に向けて進める。